



すぐにも子育てに生かそうと熱心に聞き入る父母



編集発行 校報部  
津北小学校  
羽津PTA  
印刷 阿竹印刷工業(株)

第 28 号

十一月一六日肌寒い日曜日、授業参観の後に、「豊かさの中の子育て」と題して、明和中学校長・鈴木成諦先生に講演して頂きました。今や私達の身の周りには「物」が満ちあふれており、しかも簡単に手に入れることができます。物質的にはこの上なく豊かになっている一方で、子供達の周りではいじめ・登校拒否・非行等が深刻化しています。我が子にだけは自由な思いをさせまいと一生懸命働いてきた私達親の側に、子育ての上で何か見落としはなかつたでしょうか。このような疑問を解く上で鈴木先生のお話は大いにヒントになったと思います。以下に講演内容のあらましを紹介します。

**お父さんの教育には合格点のお母さんの子供の教育となるよ...**

最近のお母さん方は実にうまくお父さんを「コントロール」している。毎日作られる家庭料理の味や好みは、お父さんに対する配慮が後退して、子供中心になり過ぎてはいないだろうか。しかし子供の言うままになつていいる家庭教育では、物を大切にしている心、我慢する心が

# 豊かさの中の子育て

明和中学校長 鈴木成諦先生

身につかず、問題が多い。

## 子供の心を育てる3条件

物質的には極めて豊かになった今日、ともすれば忘れられがちな精神面を豊かにするにはどうすればよいか。次の三つの条件が考えられる。

### (1) 子供に負しい思いをさせる。

子供は何かが欲しい、何々として欲しいと思えば率直に親に訴えてくる。しかし親がその要求に無批判に答えていると、子供には努力して手に入れることの大切さが身につかない。子供が何かを買って欲しいと親に要求してきた時、すぐに買い与えるのではなく、それが与えるに値するものかどうかを考える時間を確保すべきである。一定期間を置いてもお子供が欲していれば、その要求は子供にとって真剣だったということであり、やつとの思いで手に入れたものであるだけに大切にしようという思いが自然に身につくだろう。子供にとつて親はお金のいらぬ自動販売機であつてはいけない。

### (2) 子供は子供同士で遊ばせる。

子供は子供同士の遊びの中から様々なことを学んでいく。ある心理学者は「一人つ子はそれだけで半病人である」と極論している。一人つ子は幼児期から周囲が大人ばかりであり、わがままが通りやすい環境で育っている。兄弟姉妹や子供仲間が大人程には自分のわ

がまを認めてくれないので、子供の世界の約束事を暗黙のうちに学びながら成長し、協調性も身につけてくる。

### (3) 失敗を恐れない。

子供の失敗は成長過程での薬である。失敗をむやみにとがめたり転ばぬ先の杖よろしく失敗を犯す前に注意し過ぎると、いじけさせたり、やる気を失わせることになる。子供の失敗には励ましを与えるしかり方が必要ではないか。

## 家庭に問題がある非行

今や子供の非行が社会問題になっているが、小学生の段階で抜き差しならない状態になっている例は少ない。今のうちに芽を摘んでおく必要がある。子供の非行は95パーセントまで家庭に原因がある。

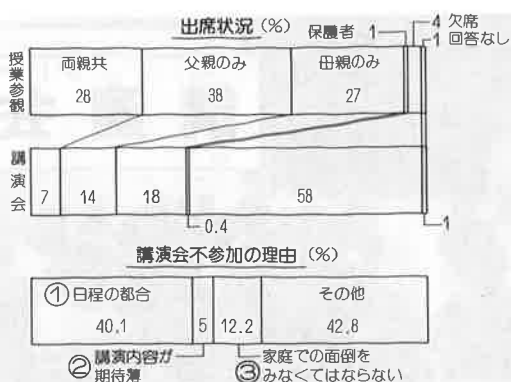
① 生活の不規則な家庭  
② 円満さに欠ける家庭

☆ ☆ ☆  
この後、中学生の非行にかかわつてこれら先生の体験から、親が子供を悪くしている場合がままあること、子供は時として嘘をつくことがあるという現実を、私達子を持つ親としては、認識して、真剣に子育てに当たる必要があるとの指摘があつて、講演会を終えました。

# アンケート集計結果より

一面記載の講演会に関してアンケートを実施しました。回収率は63% (399家庭中244家庭)。独断と偏見を混じえた分析と共に集計結果をお知らせします (回答に一部重複があり、合計と回収数の一致しないものもあります)。

★授業参観(上段)・講演会(下段)への参加状況



何らの形で授業参観に参加した家庭は全体で95%に達しており、我が子の授業風景を一目見ようとする心優しいお父さんお母さんの姿がしのべれます。

この高い出席率も残念ながら次の講演会にはつながらず、やっと40%でした。匿名(①)と(②)の合計のお父さんのうちのかなりの部分は授業参観後帰ってしまわれたわけ

です。折角学校まで足を運んで下さったのですから、そのまま講演会にも参加してと望むのは望み過ぎてでしょうか。

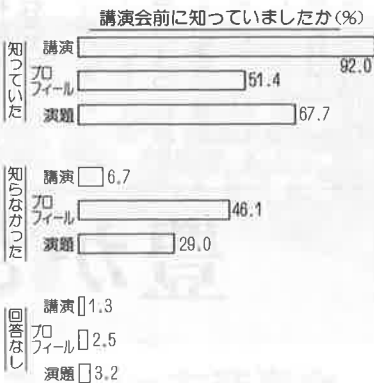
★講演会不参加の理由

講演会不参加の理由としては①が最も多く、③がこれに次いでいます。すべての会員に好都合の日を選ぶのは中々困難です。授業参観には多数参加されたのですから、今一步の御協力をお願いできないものでしょうか。

「子供が下校するので講演会に参加できない」という意見は根強くあり、「意見欄でも少なからぬ会員が言及していました。先生方から「我々も有益な講演を聴講したい」という希望があつて現在の形態になつていきます。しかし、「子供の心配をせずに講演を聞きたい」とか、「子供と一緒に帰りたい」という意見も無視し得ません。両者をどのように調和させればよいか、もう一度真剣に考える必要があります。

★講演会のあること、講師のプロフィール、演題を事前に知っていますか

事前宣伝が必ずしも十分でなかった割にはよく周知徹底されていたと言えます。しかし「もっと余裕をもつて知らせたい」という意見も見られており、PTA行事



★講師の選定について

の宣伝には工夫が必要となります。

① 役員の側で選定する……………100  
 ② 広く会員に呼びかける……………38  
 ③ その他(含回答なし)……………38

講師は「役員の側で選定すればよい」という意見が圧倒的でした。しかし①と②は相対立することではありません。常に会員の声を聞く姿勢を持ち続けなければ、片寄つた一部のPTA活動になつてしまいます。先ず広く会員に問いかけ、その意見を尊重して役員の側で決定すべきかと考えます。

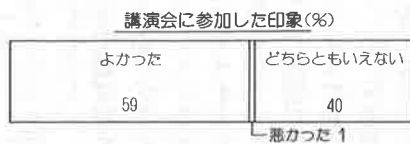
★講演会に参加した印象

回答率が余り高くない(41%)、設問を工夫してみる必要があるようです。その内①は59%。体験に裏付けされた身近な内容が共感を呼んだようです。

★その他の意見について

講演会あるいはPTA活動について60件程の意見を頂きました。「講演会を続けて欲しい」(27件)、「子供の心配をせずに参加する方法はないか」(20件)が主な意見で

すが、他に先生と父親との懇談や講演内容の紹介を求めるもの等、貴重な提案もありました。今後のPTA活動に生かすべく、真剣な検討が望まれます。



## 講演会に出席して

子は親の背をみて育つ  
 子供の心を育てる三つの条件、それは忍耐力、連帯感、チャレンジ精神であるとの事。物質的に恵まれた現代にあつては、なかなか難しいことである。

子供は親の背中をみて育つといわれるが、私自身のぐうたらで不規則な生活は、問題家庭の見本のように恥ずかしい限りです。しかしあんな親にはなりたくない、自分ならこうすると考えてくれたら反面教師としての親の役割も、少しは果せると思っています。そして

たまには、机に向つて一生懸命な姿もみせておかねばと、反省させられた耳の痛い講演でした。

(二年 ダメ親父)

## 甘すぎたかな

先生のお話を聞く内に「はっ」としました。我が家のことではな

いか。子供の「ううて、ううて」と言う口封じに、そしてうれしそうな顔を見たさに、口頃の放任をカバーする為に、誕生日、クリスマスそしてほめ言葉替りに高価なおもちゃや品物を与えたりして子供のぎげんを取っていました。

子供達がもう少し大きくなつて今以上の品物をほしがれる様になつた時、そしてそれが与えられなかつた時、子供達はどつするでしょう? とても恐しいことです。

成長して大人になつた時のことを思うと、とても考えさせられ、親も強くならなければと反省しました。

(二年 森宗士)

## 分かりやすかつた講演

「今のお母さんは、御主人の家庭教育だけは上手にしてみえる。で始まつた鈴木先生の講演。物の豊富な中で人に迷惑をかけず、自立した子供に育てる事のむずかしさ、親としての態度等を分かり易く語りかけて下さいました。

一、子供に貧しい思いをさせる。  
 二、子供は子供同士で遊ばせる。  
 三、失敗を恐れない子に育てる。

また、中学生の非行の原因は95%は家庭に問題があり、生活のリズムを崩さぬ事。家庭を円満に保つ事がいかに大切かを諭されました。

試行錯誤しながらの毎日ですが思考力のある、やさしい子に育てなければと改めて認識しました。

(6-1 藤山まゆみ)



集団なわとびでギネスに挑戦

### またやりたいね

#### 親子ゲーム

親子ゲームってどんなことをするのかなと、思ってた学校へ行ってみると、6つのゲームの項目が、書いてあり、4チームに分かれてゲームを競い合うということでした。日頃、運動不足のお田さん方も、この日はやはり、子供と一緒に、応援にゲームに大ハッスルです。そして、どの子供達を見ても、とても生き生きとした、うれしそうな顔をしているのです。ゲームが、終わって、娘が、「もっと、やりたいな」と言うのを聞いて、親子のふれあいつて、本当に、大切だなと、痛切に感じました。

(一年 親)

### いい顔してたね 子供達

親子で楽しいゲームをしている子供達の顔は、実に生き生きとここに顔ですばらしいものでした。

親である事も年も忘れて、鬼につかまらないう様、子供達と一緒に真剣に逃げ回りました。こんな親の顔を、子供達

### 学年行事あれこれ

#### こどもは負けんぞ! ドッチボール

「学年行事はドッチボールだつて」と言っていた子供は「えー お田さんとやるのー、僕ら強いぞ、お田さん達に負けるぞ」とアトバイスをしてくれました。それでも色々と作戦を練ったりしてそれなりに楽しみにしている様子でした。さていざ始めてみると子供達のボールに対応する動きの早いことにも朝の彼の様子からは想像も出来ません。ところで私はいつたら、ゲームを把握する前に当ってしまつてみじめ、私にとってはドジボールでした。でも今度は負けないぞ!

(三年 伊藤真理子)

達は、どの様に受け止めてくれたでしょうか! きつとすがすがしく、気持ち良く思つてくれた事に信じます。とても楽しく過ごさせて頂きました。

子供の気持ちを判つてやる事を忘れ気味だった私には、この行事はとてもよい機会になりました。子供達のすてきな顔は、私に教科書となつて、語りかけ、色々と教えてくれました。(二年 中村二美)



「保育園のとき以来かしら」

### たくましくなつたね!

少し風のある日でしたが子供達は半袖の体操服で元気一杯でした。ドッチボールでは、子供達の元気な声に、本領発揮のお田さん、逃げ専門のお田さん、どの顔も生き生きとしていました。四年生ともなると投げの球も力強く、改めて子供達の成長した姿を見て嬉しく思いました。大縄跳びも、一組は何人入れるか、二組は数人で何回跳べるかで、親も十二分の力を出して頑張りました。一つのことを一緒に楽しむという姿からは、今問題になつていないじめなど無縁のようです。何事も命令調でなく、一緒にやるという親の態度が、子供にやる気を起こさせるのではないかと考えさせられました。(四年 親)

### あつという間の一時間

せーのでは、で始まつた大なわとび、親子で走つた二人三脚、クラス対抗になつたつなひき、学年行事を終えての帰りに、頬を紅潮させて大なわをまわすのも大変、飛ぶのも大変と言つてるお田さん、天気も心配したけど無事に終えてよかったと言つ役員さん、楽しかつた

(五年 井上笙子)

### 必死だつたね!

十一月八日、六年生の学年行事として、初めての試みである、オリエンテーリングを行いました。コースに分けて各々のポイントの字を、組み合わせて、言葉を捜すゲームも含まれていました。少々肌寒い日でしたが、一時間

残り、子供と話をしながら歩いたり、地図を見て、道を捜す子供に頼もしさも感じ、一対一の親子の「ふれ愛」も心強く、運動不足の足の疲れも忘れ、一生懸命ついで行きました。最後にポイントの字を見逃し、あわてて戻りかけた親達に、「ゴールで考えよう」と現代つ子ぶりも見せた、あわてちゃんでした。体も汗ばみ心よい半日を過ごすことが出来ました。

(六年 親)



次の目じるしは何か一オリエンテーリング

# 第12回 三酒母と女教師の語る会

十一月二十二日(土)、蕨野中学校で表題の会が開かれました。本部から参加した永戸・川口の両氏に報告を寄せて頂きました。

全体会が終わって、第二分科会に参加しました。「学校給食」について提案校より発表があり、これについて出席者の間で、意見交換、質疑応答等で活発な討議が行なわれました。

## 給食への関心を深めた分科会

最後に助言者の方から、これからの給食の方針として、「現在の給食の力口リーが高くないか」という意見に対しては、「来年度から調理方法のあげ物を減らして、根菜類や小魚等を多くとり、エネルギーを下げる。又、大人の側から考えず、子供を主体に考えた食器改善(上げ底の容器)にする。等の回答がありました。等

一時間二十分足らずの短い時間でしたが、給食のあり方や、食生活の改善等、学校給食に対する関心を深めることができました。(永戸昭子)

「豊かさの中の子育て」の講演内容を録音テープに収めてあります。御希望の方には貸出しますので松岡先生まで御連絡下さい。

私の参加したのは第五分科会。「性教育について」です。大切だとは分かっているけれども、中々口に出し難い問題です。こんな難しい分科会に何の因果で私が…。そこではいろいろな意見が出されました。○子供に性をどのようにつたせばよいか、

○「赤ちゃんはどこから生まれてくるの」と聞かれた時の答え方は、○トイシにおぶつ入れを置いておいた方がよいかなど。

いずれも性教育の本質にかかわる問題を含んでいるだけに、的確な答えになると返答に窮する家庭が多いのではないだろうか。お田さん方から、「テレビの性教育番組の機会を見つけて話す」とか、「一緒に風呂に入った時にさりげなく」とかいう意見が出されました。中々公式解答の出し難い問題ですが、変に隠しだてすることなくさりげなく」というのが結論のようです。(川口まさ子)

## う〜ん、むづかしいなあ性教育



## 練習よりうまくなった音楽会

五年一組 森 三 恭

わたしたち五年は、三酒母楽会に行つた。練習の日、ふえはよかつたけど、歌が、最後の四小節で、ハモラなかつたり、音がさがつたりした。最後の日もあまりうまくできなかった。とうとう音楽会の日が来た。不安いっぱい、市民会館についた。四年の所もあつた。四年の子だつたけど、じょうずだつた。「うまくなるとか」と思った。とうとうわたしたちのばんだ。ドキドキした。でもいつもよりもうまかつた。よかつた。ほつとしました。先生もほめてくれました。

## 子供のための教育環境整備

環境整備部長 伊藤 正 男

十一月二十二日(土)、学習園の整地と米洗川堤防の草刈りを実施しました。学習園の整地はパワーシヤベルを動員して(勝田副会長の御好意によるものです)、ワラを鋤き込む本格的なものです。来年になつてみごとな花が咲き、豊かな緑があれば、今回の整地の効果が大きかつたと言えるのでは……。

米洗川堤防の草も年一回の除草では追いつきません。冬を控えてきれいに刈り込みました。



冬を控えてござつぱり

今回は参加者が少なく、秋のつるべ落しということもあって、作業を終える頃にはとつぱり日も

## 荒木会長 表彰される

昭和六十一年度・四日市市P連大会において、本校PTAの荒木正一会長が永年のPTA活動を認められて表彰されました。おめでとうございます。

## 編集後期

★始めて実施したアンケート。回収・集計・分析と結構大変です。63%の回収率は低調のようにもみえますが、最初にしてはまあまあかなと得心しているところです。

★アンケートの中に「講演要旨を紹介してはどうか」という意見がありました。この意見に触発させてというわけではありませんが、一面に講演内容を紹介しました。

★ストーブの入った部屋でレイアウトに頭をひねる面々。少しでも見やすく読みやすく……。出来映えはいかがでしたでしょうか。

★忙しい年の瀬の「けやき」編集。少々閉口しながら出席した私ですが、部会の和気あいあいの雰囲気、私の気分をなごませてくれる。帰りは一仕事やり遂げた心地よさに包まれて家路へ急ぐ(ウソオーという陰の声あり)。

★28号が会員の手に届くと間もなく一学期も終了。冬休み、年末とあわただしく過ぎていきます。皆さんよいお年をお迎え下さい。